

# 特定秘密保護法・仕事安全総点検・脱原発など

# 客貨一体 春闘 それぞれの課題で 取り組まれる!



3月7日、仙台市市民会館において東北総決起集会が開催され、盛岡・秋田・仙台の仲間400名が結集しました。

集会前段の12時から、国労会館主催の学習会が行われ、「特定秘密保護法」の問題点について宮城県護憲平和センターの清藤弁護士より講

2014春闘は、「戦争ができる国づくり」に向け暴走する政治や、原発などの様々な課題が浮上する中で迎えました。

とりわけ賃上げを巡る状況では、JR東日本が3月14日に、ベアを昇給係数の4分の1（社員平均1,650円）、夏季手当については2.8カ月＋1万円などを回答。また、JR貨物は、社員にさらなる犠牲を強いる15年連続のベアゼロ回答を3月17日に示しました。

今号は、今春闘期に取り組まれた行動特集号とします。

演を受けました。

引き続き行われた東北総決起集会では、最初に東日本本部松井委員長から春闘の交渉経過と今後の取り組みについて報告されました。その後、連帯あいさつ、各地本・貨物協議会から決意表明が行われました。

集会は佐藤東北協議会議長の団結がんばろうで意思統一をし、「10,000円の賃上げ」「安全安定輸送の確立」「平和憲法を守れ」などと訴えながら仙台駅前まで整然とデモ行進を行いました。

デモ行進では、労働組

合の組織率が16%と低下し非正規社員が50%に迫ろうとする中、賃上げを訴えることもままならない状況を反映してか、国の取り組みに期待する方のように声援を送る方や歩道で一緒にこぶしを振り上げる若者も見られました。そのことから、春闘の取り組みは、正規社員だけの運動ではないことを認識させられました。

また集会終了後は、恒例となつている東北三工場交流会、東北貨物協議会交流会も取り組まれ、団結と懇親が深められました。



（組合員の購読料は組合費に含まれます）

港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 松井正義  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 749 定価 20円

2014年 3月31日

踏み出そう  
仲間は声を  
待っている

<http://www.e-nru.com/>

携帯用ホームページはこちらのQRコードから

## 八王子地区本部 仕事安全総点検 職場交流集会 3月1日を開催!



八王子地区本部は、3月1日八王子労政会館において、春闘期恒例となつている「仕事安全総点検職場交流集会」を開催し、会社施策の検証と職場からの要求行動を意思統一してきました。

午前の部は全体集会を行い、水越副委員長の司会進行で始まり、田中委員長の主催者あいさつに続いて、「地区本部業務部提起」を行いました。

その後、効率化施策実施以降の職場実態が各職協から報告されました。

【運車職協・運転】「職場の要求を『社員の声』として集約し、年2回区側に提出している。」「立川駅の詰所は、『仮詰所』で7年たっても改善されない。」

【運車職協・車両】「JETSの小金井派出は、日勤が発生すると清掃業務にまわされる。」「JET Sのプロパー社員が研修に来てはいるが、教育期間が短く本人は不安に思っている。」

【運車職協・車掌】「この3年間で、立川で80km乗務距離が延ばされている。」

【電気職協】「若い主任はメセの経験が無く、国労の技術系が一緒でない仕事が出来ない。」「検測車で悪いデータが出て、要員がいないので作業出来ない。」

【営業職協】「『駅遠隔操作システム』導入で、八王子みなみ野駅が1徹1変形日勤体制に縮小され、5月から業務委託される。」「みどりの窓口の営業時間短縮等、改善された点もある。」

【工務職協】「慢性的な要員不足と経費削減で、いつ事故が起きてもおかしくない状況。」「若手社員は、『技術課題』を持たされて、通常の業務に支障をきたし、超勤しなればこなせない。現場に出た方が勉強になる。」などといった報告がされました。

午後の部は7つのグループに分かれ約2時間にわたって分散交流会が行われました。

集約集会では分散交流会報告を渡部教宣部長・武田法対部長が行い、続いて東日本本部伊藤執行委員より「2014春闘と労働協約改訂闘争の現状と課題について」報告をしていただきました。

これらの報告を受けて横森書記長が①春闘の取り組み、②仕事安全総点検運動の強化、③組織関係、の3点について「まとめ」を行い、最後に田中委員長の閉会挨拶・団結ガンバローで終了しました。

# 新橋支部 3/13 春闘統一行動 集約集会開催!



報告をする  
松井委員長

3月13日、14春闘勝利！支部春闘統一行動集約集会を組合員・家族会、JAL争議団・支援共闘の仲間211名の参加で開催をしました。

主催者を代表して支部伊藤委員長のあいさつ、上部機関から東日本本部松井委員長・東京地本松川書記長より情勢報告を受け、JAL不当解雇撤回裁判原告団から支援の要請、全労協中岡事務局長、南部全労協藤村事務局長からそれぞれ連帯の



あいさつを受けました。

職場報告の中で貨物の仲間からは、「春闘の回答が報道されているが、私たち貨物会社は14年ベアなしである。職場からできることはやりきる。」と述べました。旅客職場からは、「地区協の取組みとして、2月に駅遠隔操作システム導入にあたり、職場実態などの調査を行い、あらためてこの間の合理化の検証が必要である。」と決意が述べられました。

石井書記長から春闘統一行動の集約、当面する行動の意思統一を行い、東京地本中嶋青年部長の団結ガンバローで締められた後に、交通ビルから東電本社前を通り解散地点の鍛冶橋駐車場までデモ行進を行いました。



●東日本大震災、そして福島第1原発事故から3年が経過した3月8日、「原発のない福島を！県民大集会」が県内3会場で同時開催されました。メイン会場のユラック又熱海（郡山市）では、主催者が「未だ原発事故は収まらない！」と集会の開催を宣言。連帯のあいさつをした大江健三郎さんは「事故が起きるまでは『安全だ、必要だ』と、いう話にだまされていた。」「だました人間の責任を追及する。原発に対する嘘を次の世代に残すことはできない。子供たちを守ろう。原発は人間と共存できない！」と、訴えました。

## 脱原発・反原発 連続行動に参加!

●3月9日、「原発ゼロ☆大統一行動」（首都圏反原発連合／さようなら原発1000万人アクションなどの主催）に国労として参加。東日本からは東京・千葉・水戸の各地本などから参加しました。

会場の日比谷野外音楽堂は、内も外も参加者で埋まり、デモ終了予定時刻になっても未だ出発で

県民からの訴えでは、今なお避難生活を余儀なくされている方、県内で農業を営んでいる方、除染労働者、高校生平和大使がそれぞれの立場から、原発事故後から「今の状況を報告しました。」

集会は、最後に「宣言」を採択し、「原発はいらない！」のシュプレヒコールで福島との連帯を誓い合いました。

きない参加者が出る状況に。デモでは「再稼働反対」を訴え、国会請願行動を行いました。

●3月15日に東京・日比谷野外音楽堂に5500人が集まり「フクシマを忘れない！さようなら原発3.15脱原発集



会」が開かれ国労からも参加しました。

集会は、初めにハイロアクション福島からの報告子さんが福島からの報告として「この福島を置き去りにすれば人権侵害はどこでも起きる。怒りの火薬を湿らせてはならない」と訴えました。

賛同アピールとして、元宇宙飛行士の秋山豊寛さんは「福島原発から32

キロの所でシイタケ栽培をしていたが、全てが汚染された。事故の責任を誰が取ったのか。責任を取るといふ事は未来に対して何が出来るのか、再稼働を絶対に許してはならない。」と訴えました。

福島原発の収束作業に携わる労働者の被ばく問題では、「被ばくを前提として、犠牲を強いる労働のあり方を問わなければならぬ。労働者の安全を第一に進めるべきだ」と訴えました。

また、原発再稼働問題では「原子力発電に反対する福井県民会議」からは、「原発がある地域の住民の本音は脱原発だが、地域経済もあり、揺れている。全国のひと繋がって、再稼働を止めていきたい」と呼び掛けました。

最後に呼びかけ人の鎌田慧さんが「3月下旬に川内

原発再稼働の動きがある。その時は国会前で大行動をしよう」と呼び掛けて集会を終えました。

その後、参加者は銀座・東京駅までのデモ行進を行い、「原発をなくせ！」「再稼働を許すな！」などと力強くアピールをしました。

最新のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」です。

生きるためのがん保険 Days

（引受保険会社）「生きる」を創る。 **Affac**

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）  
東京第三法人営業部

〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

資料請求いただいたお客様の個人情報利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

©詳しくは、「パンフレット（契約概要）」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF007-2011-0293 6月22日

